



あしなみ会だより

足立区精神障害者家族会
事務局：足立区千住4-3-9
TEL 3881-6400



2025年
4月号

< 令和7年度のスタートにあたって >

あしなみ会会長 石川 和子

桜満開の中、令和7年度がスタートしました。令和6年度は社会福祉法人あしなみのご支援・ご協力をいただきながら、みんなで話し合った計画通りに家族会活動を進めることが出来ました。

定例会への参加も少しずつ増え、みんなで協力し合い、和やかな雰囲気の中話し合い、色々学ぶことが出来ました。

また、みんなねっと大会、東京つくし会会議、足立区の自立支援協議会等たくさんの委員会にも手分けして出席しました。

足立区障害者団体連合会の対区要請集会にオリーブ会と一緒に参加しました。当事者を支えながらの熱心な家族会活動に心から感謝します。

令和7年度もみんなで活動計画を立て、実のあるみんなの家族会にしていきましょう。今年度もどうかよろしくお願いします。

< 3月 あしなみ会例会 報告 >

3月15日（土）法人理事長もお越しくださり、14名の参加で例会をおこないました。当日はつくし会のブロック会議もあり、そちらに2名が参加して下さり、活動参加者としては16名ということになります。

《講演会…「足立区まるごと相談課について」の報告》

令和6年度は、「親亡き後の準備をするために…」を年間のテーマに医療、経済、身の回りの自立のために、住まい、災害に備えて、と月毎にテーマを絞り込んで学んできました。6年度の締めくくりに令和6年4月から開設された「足立区福祉まるごと相談課」について大北課長さまからお話をいただきました。

大北課長さんが配布してくださった資料のはじめに「困りごとや生きづらさを断らずに受けとめ、つながり続ける」と示してくださっています。この言葉に励まされ、勇気づけられる思いになりました。以下は大北課長さんのお話です。

昔は、家庭や地域のつながりの中で、個人や家庭が抱える課題や困りごとを解決し、支援していた時代もありました。今は少子高齢化や核家族化が進み、町会・自治会への加入をしていない家庭も増えており、住民同士の結びつきも希薄化しています。さらに、老々介護、認知介護（認知症の症状のある高齢者が、認知症の症状のある高齢者の家族を介護する）、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラー等の問題もあります。本人や家庭の中で、複数の課題が重なり、従来の公的支援だけでは対応しきれないケースも増加しています。

今、「地域共生社会」の実現を国は取り組もうとしており、足立区も「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを進めてきています。「地域共生社会」というのは、地域の住民の誰かが誰かの生きがいになったり、世代も超えてつながりあい、支え合う「共に生きる社会」のことです。

足立区では、この地域で起きていることは（区役所の）私たちのこと（私たちごと）、と捉えて相談を断らずに受けとめるため、部署を

「まるごと相談課」の名称にすることに落ち着きました。いわゆる縦割りと言われている既存の窓口はそのまま活かしながら、それぞれの縦の支援を横につないでいく「重層的支援」の体制に取り組んでいます。「こんなこと、どこに相談したらいいのかな」など、相談先のわからないことは「まるごと相談課」の窓口で相談していただいて、庁舎内で、その相談の中の困りごとに関わる部署が集まって何ができるのかを協議してご本人につないでいこう、とまるごと相談課は考えています。区外の人の相談も断ることなく受け入れています。

福祉 ごと 相談課

令和6年4月1日開設！

まると相談課では、具体的な支援として、生活や仕事、家計、法律、ひきこもりの方や家族への支援、居場所支援、寄り添い支援など、専門支援機関とも連携して、悩みごとへの相談を受けています。

特に足立区では「ひきこもり」への偏見をなくしていきたいと考えています。「ひきこもり」はいつでも誰もがなりえる状態像です。その時の環境や様々な要因から、外に出たくても出られない、動けない状態になってしまう状態です。生きるエネルギーを水にたとえたなら、コップの中の水がなくなってしまった状態、生きていくために必要な手段としての状態です。足立区は、専門的な機関と連携して、生きる意欲の回復への支援に取り組んでいます。

お話の後に会場からの質問にも丁寧に答えて下さいました。「まると相談課は、何かを給付する、認定するという部署ではありません。ご相談していただいて、庁舎内の既存の機能を活かしながら、何ができるのかを一緒に考えていく、という部署です。」と締めくくってくださった大北課長さん、ありがとうございます。

お話を伺って、相談を持ち掛ける側の私たちも、共生社会を目指して「まると相談課」と連携していきたいと思いました。

複数の課題が複雑化してどうしたらよいだろうと困ったときには、ぜひ、まると相談課に相談に行ってみましょう。一人で行くのが不安であれば、家族会にお声掛けいただければ、一緒に窓口に行くこともできます。事前に悩み事を整理するお手伝いもできるかもしれません。また、まると相談課は、訪問相談も実施しています。

「重層的支援体制」「包括的支援」難しい言葉ですね。今までは、この相談事はこの窓口、あの相談事はあちらの窓口、と複数の相談事を相談に行く窓口の検討を付けなければなりませんでした。でも、これからは、まると相談課の窓口で、とりあえず、困っていることをまると聞いてもらって、一緒に考えていってもらえる、と思いました。まるで医療機関の総合診療科のようだとも思いました。まると相談課には魔法の杖は設置していないけれど、困ったことを、うなずきながらまると聞いてくださる方がいる、一人にはしないで、一緒に考えてくれる人がいる、と思うと元気が湧いてくると思いました。

あらためまして、大北課長さん、ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(報告 桑原)

＜福祉まるごと相談～困ったら気軽に相談を～＞

相談時間：月・水・木曜、第2土曜・第4日曜 午前9時～午後5時
火・金曜日 午前9時～午後7時

住所： 足立区梅島2-2-2（足立区役所別館1階）

問い合わせ先：足立区役所福祉まるごと相談課

電話：03-3880-5705・03-5888-4571（いずれも相談員直通）

FAX：03-3880-5714

＜移転プロジェクトの進捗状況 報告②＞

3月3日（月）にお世話になっている不動産屋さんを訪問し、以前から紹介していただいている物件について詳しくお話を伺いました。また、ほかに気になっている物件についても相談し、助言をいただくことができました。

3月11日（火）のオンラインでの移転会議で不動産屋さんとのお話について、情報共有を行いました。他に気になる物件について意見交換を行いましたが、決め手となる条件を見出すことができない状況でした。

設計、建設、資金計算などを考えると、次年度中には物件を見つけておく必要があり、気になる物件を中心に再度「物件探しています」のチラシを配布してみることにしました。

令和7年度中の物件の決定を目標に取り組みを続けることを確認しました。

皆様からも、何か良い物件情報やアイデアがありましたらお知らせいただけますと幸いです。



一句

咲く方へ 開く方へと 風の暖
芭蕉

＜第29回足立区こころの健康フェスティバル 報告＞

3月1日（土）、上記のフェスティバルが開催され、約2,500人の方が来場されました。当日は中庭やアトリウムで模擬店が出店され、ホールでは「こころの健康を支えるくすりの話」の講演が5年ぶりに対面で行われました。ボンサンス・萌・しかはま・スマイル・ZiP/WiZは合同で自主製品とバザー品を販売し、協立はターゲットボール、ふれんどりいは中庭でコーヒーを販売しどこも大盛況でした。ご来場頂いた皆様には改めて御礼申し上げます。まだ他施設との交流が少ない中で、連携を取り合うことができた有意義な一日になりました。

《協立作業所》

- お天気も良くよかったです。ターゲットボールは子供から大人までできるので色々な皆様楽しんでいたので良かったと思いました。（K）
- ターゲットボールを知ってもらえる良い機会になりました。景品が早くなくなるほど盛況で良かったです。楽しい1日になりました。（M）



《萌作業所》

- ☆十四中の吹奏楽が印象に残った。スタッフと出店でコーラとホットドックを食べた。杏仁豆腐も食べた。ゲームをやってお菓子をもらっていい気分だった。（H）
- ☆健康フェスティバルは楽しかったです。（H） + （T）
- ☆自主製品、バザー品の販売のお手伝いをしました。ワイワイにぎやかで緊張したけど楽しかったです。（A）

《綾瀬スマイル工房》

- ◎肩が痛かったけど、販売がんばりました。（K）
- ◎今年の健フェスに参加できて良かったです。いろいろな人に出会えて良かったです。食事も美味しく食べられました。
- ◎皆様よりたくさんのバザー品を頂戴し、お陰様で大盛況でした。地域にチラシを配布することにより、綾瀬スマイル工房を知っていただくきっかけとなりました。ありがとうございました。

《アトリエほっと・しかはま》

□前夜、楽しみで中々眠れなかったです。皆様と一緒に参加させて頂けてとても楽しかったです。本当に有難うございました。

□前回1回目は途中で体調が悪くなってしまいましたが、今回2回目は販売を自分なりに頑張れてよかったです。

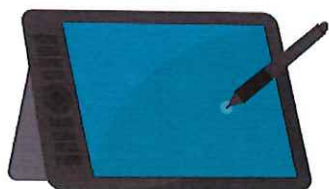
□あんなに人が区役所に集まるのを見たのは初めてな気がします。来年が30周年、楽しみです。



◆◆◆ トピックス ◆◆◆

<綾瀬スマイル工房>

赤い羽根共同募金の配分金を活用し、メンバー用のPCとタブレットを購入させていただきました。スマイルでタブレットを使ってみたいとの声を反映させた形になります。今年度は、スマイルの行事の際に、イラストを使用することが多々あり、今後はタブレットで描いたメンバー作のイラストを、どんどん活かしてゆきたいと計画しています。本当に有難うございました。



<ボンサンス・千寿>

2月15日(土)に日帰りバス旅行へ行ってきました。メンバー17名、職員8名が参加しました。行き先は、実行委員のメンバーさんを中心にアンケートを行い「カップヌードルミュージアム横浜」に決定!バスではバスガイドさんのお話やミニレクを楽しみながら到着!オリジナルカップヌードルの作成では、自分でカップをデザインし、好きな具材を選び「食べるのが楽しみ!」と数週間後まで話題となるほど楽しい体験でした。お昼は重慶飯店で豪華なランチコースをいただき、午後はそれぞれ山下公園、マリンタワーなどを散策。良いお天気に恵まれ、とても楽しいバスレクとなりました!

○入所後初めてで緊張したけれど皆さんと楽しく過ごせました。(K)

○久しぶりだったので横浜たのしかったよ!(Y)



< 協立作業所 >

3月11日に協立家族会（保護者会）を行いました。職員3名、2家族3名の参加で事業報告や作業の様子をお伝えし、その後はご家庭での様子や今後の話などフランクにお話をいただきました。職員もご家族もお互いに話をする機会はなかなかないので話も弾み、予定時間をオーバーしての終了となりました。ご家族が遠方の方、高齢の方も増える中での開催になるので参加はどうしても少人数になってしまいますが、近況報告や作業所のことを理解していただく良い機会になったと思います。



< アトリエほっと・しかはま >

3月6日（木）、所内にてランチの会を開催しました。江北管内にてパンとお菓子を製造販売されているB型事業所ウィズユーさんに焼きたてのパンを届けていただき、参加者35名の賑やかな会となりました。○どのパンにしたらいいか迷いましたが、選んだ3種類のパンが全て美味しかったです。

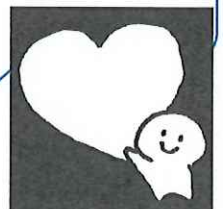
○4つ食べられそうだった。

○とても美味しくてよかった。又やって欲しいです。



社会福祉法人あしなみにご寄附をいただき、有難うございました

乾 雅榮 様



< あしなみ会 4月例会のお知らせ >

令和7年度第1回めの例会です。今年度もみんなで協力し合って、あたたかい家族会、ほっとする会、そして学べる会にしていきたいと思います。皆様のご参加をお待ちします。

日 時：令和7年4月19日（土）午後1時半～午後4時

場 所： ボンサンス・千寿 2階

足立区千住 4-3-9 03-3881-6400

内 容： 1， 令和7年度の計画について

2， 家族懇談会

～相談事など、どんな事でも

気軽に語り合いましょう～

<お願い> マスクを着用してください。

